

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

大川市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

福岡県大川市

### 3 地域再生計画の区域

福岡県大川市の全域

### 4 地域再生計画の目標

大川市は福岡県の南西部、筑後川が有明海に注ぐ河口左岸の一角に位置し、家具製造業等の木工業を基幹産業とする全国屈指の家具産地である。しかしながら、1991年頃の最盛期をピークに、バブル経済崩壊後、生活様式の変化や輸入家具の増大などあいまって、インテリア産業を取り巻く環境は大変厳しい状況となっており、自然減（増加傾向にある出生数が依然として死亡者数を上回らない）及び社会減（大学進学や就職を契機とする10代後半から30代前半の流出）の影響による人口減少、少子高齢化など、他の自治体が抱える同様の課題に加え、基幹産業の衰退による雇用機会の減少という課題にも直面している。

国立社会保障・人口問題研究所の推計でも2040年に約21,700人と予測されているように、今後、更に人口減少が進むと、労働力の減少、消費需要の減少、少子高齢化による社会保障制度の維持困難、地域の活力低下など様々な影響が懸念される。

第1期大川市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定後の人口動態からは、人口減少に一定の歯止めはかかっているものの、2019年12月末現在33,925人であり、策定時の目標人口（2020年：35,500人）は下回っている。

大川市がこれからの人口問題に対応していくためには、出生率の向上による自然動態の改善と、移住・定住人口の増加による社会動態の改善により人口減少に歯止めをかけるとともに、人口構造の若返りを図る必要がある。そのためには、第1期大川市まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げた次の3点について、「目指すべき将来の方向性」として取組を強化し、効率的かつ効果的な社会基盤づくりを行う必要がある。

- (1) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現する
- (2) 近隣都市や福岡市、大都市圏への人口流出に歯止めをかける
- (3) インテリア産業や農水産業などのさらなる振興を図り、雇用を創出する

上記の基本的視点をもとに次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、

人口減少の抑制や地域の活性化などを実現する。

- ・基本目標Ⅰ 産業振興と安定した雇用の創出
- ・基本目標Ⅱ 結婚から子育てまでの切れ目ない支援
- ・基本目標Ⅲ 大川への新しい人の流れ創出
- ・基本目標Ⅳ 時代に合った地域づくりと地域間連携

#### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2024年度 )	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	有効求人倍率	1.16倍	1.0倍	基本目標Ⅰ
イ	合計特殊出生率	1.38	1.8	基本目標Ⅱ
ウ	総人口	34,473人	33,128人	基本目標Ⅲ
エ	大川市に住み続けたいと思う市民の割合	74.6%	80.0%	基本目標Ⅳ

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

大川市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 産業振興と安定した雇用の創出事業
- イ 結婚から子育てまでの切れ目ない支援事業
- ウ 大川への新しい人の流れの創出事業
- エ 時代に合った地域づくりと地域間連携事業

#### ② 事業の内容

- ア 産業振興と安定した雇用の創出事業

人口流出に歯止めをかけ転入者の増加を図るために、家具産業を核と

したインテリア産業・商業や、あまおう・福岡有明のり等の農水産業などの振興、雇用創出・就労支援・企業誘致の推進など、大川市に住み、働く環境を実現するために産業振興と安定した雇用を創出する事業。

**【具体的な事業】**

- ・インテリア産業・商業のブランド力強化と更なるPRの推進
- ・インテリア関係団体との連携強化及び受注体制の構築 等

**イ 結婚から子育てまでの切れ目ない支援事業**

子育て支援・学校教育の充実など、人口減少を克服するため、次代を担う若い世代が安心して働き、希望どおり結婚・出産・子育てをすることができる社会を実現するために、結婚から子育てまで切れ目のなく支援する事業。

**【具体的な事業】**

- ・保育サービスの充実
- ・子育て支援総合施設の整備と子育て支援の充実 等

**ウ 大川への新しい人の流れ創出事業**

観光振興・地域間交流等に取り組み、近隣都市や福岡市、大都市圏への人口流出（特に若い世代）に歯止めをかけ、是正する。また、人口減少に伴う地域の変化に柔軟に対応し、機能的・効率的で持続可能な社会基盤を構築するなど、大川への新しいひとの流れを創出する事業。

**【具体的な事業】**

- ・観光資源の発掘・創出
- ・体験型観光の推進 等

**エ 時代に合った地域づくりと地域間連携事業**

筑後圏域の自治体や佐賀市との連携を深め、住環境の充実した衛星都市として、住みたい、住み続けられる広域圏域を形成する。併せて、健康・福祉・医療、高齢者福祉等に取り組むなど、時代に合った地域づくりと地域間連携を推進し、地域社会を構成する人々が共に支え合い、安全で、安心して住み続けられる社会を実現する事業。

**【具体的な事業】**

- ・高齢者の介護予防と生きがいづくりの支援

・様々な広域連携体制の取り組み 等

※なお、詳細は第2期大川市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

10,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度、3月末時点の基本目標やKPIの達成状況を取りまとめ、6月頃までに外部有識者で構成する検証委員会において、PDCAサイクルによる検証を行い、重要業績評価指標（K P I）の達成状況を確認していく。なお見直し等が必要なものについては、検証委員会の検証結果を踏まえた見直し等を行う。検証結果については、市ホームページ等で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで